



2026年5月19日

各 位

会社名 相模ゴム工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 大跡賢介
(コード番号 5194 東証スタンダード市場)
問合せ先 専務取締役 吉田邦夫
(TEL. 046-221-2311)

営業外収益（為替差益）の計上及び連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2026年3月期第4四半期連結会計期間（2026年1月1日～2026年3月31日）での営業外収益（為替差益）の計上及び2025年5月19日に公表しました2026年3月期連結業績予想と実績値との差異につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上額

2026年3月期第4四半期連結累計期間において、外国為替相場の変動に伴い、為替差益488百万円を営業外収益として計上いたしました。なお、当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）においては、為替差損1百万円を営業外費用として計上しておりました。

この為替差益の変動は、主に当社及び在外連結子会社の外貨建資産及び負債を期末為替レートで評価したことによるものであります。

2. 連結業績予想値と実績値との差異について

2026年3月期通期連結業績予想と実績値との差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,100	百万円 240	百万円 140	百万円 50	円 銭 4.61
今回実績(B)	5,911	180	587	283	26.11
増減額(B-A)	△188	△59	447	233	—
増減率(%)	△3.1	△24.8	319.9	466.8	—
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	5,687	△33	522	392	36.16

3. 差異発生理由

2026年3月期通期連結業績につきましては、売上高は、プラスチック製品事業の販売数量減少や介護事業撤退の影響により、前回発表予想を188百万円下回りました。営業利益は、価格転嫁や不採算事業の整理など収益性改善に向けた施策を進めたものの、エネルギー価格の高止まりや円安の影響による製造原価の上昇により、前回発表予想を59百万円下回りました。一方、為替差益の計上等により、経常利益は447百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は233百万円、それぞれ前回発表予想を上回りました。

なお、2026年3月期通期連結業績の詳細につきましては、本日公表の「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以 上